

国連責任投資原則（「Principles for Responsible Investment」(PRI)）への署名

国連責任投資原則（「Principles for Responsible Investment」(PRI)）とは、2006年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が提唱し、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)と国連グローバル・コンパクトが中心となって、世界の主要機関投資家とともに策定した原則です。

同原則は、機関投資家が投資の意思決定プロセスや株式等の保有方針の決定に際してESG課題の視点を組み込み、受益者のために長期的な投資成果を向上させることを目的としており、法的拘束力はありませんが、責任投資に関する世界共通のガイドラインとなっています。

当社は、国連責任投資原則（PRI）の趣旨に賛同し、2006年5月に、原則公表後速やかに署名しました。

国連責任投資原則

1. 私たちは投資分析と意思決定のプロセスにESGの課題を組み込みます。
2. 私たちは活動的な(株式)所有者になり、(株式)の所有方針と(株式の)所有慣習にESG課題を組み入れます。
3. 私たちは、投資対象の主体に対して、ESGの課題について適切な開示を求めます。
4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。
5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。